



ENGINEER® の MPDP ダイアリー



高崎 充弘

第20回 「ネジザウルス RX」 開発秘話！

[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、(株)エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。

初代ネジザウルスは2002年に販売を開始し、その後2005年と2006年にサイズの異なる新モデルを投入しました。そして2009年に上市したシリーズ4代目の「ネジザウルスGT」が、それまでの3機種とは比べようもないほどの大ヒットとなり、そこからMPDP理論が誕生したことは本稿でもお伝えしてきました。

シリーズ累計200万本を達成した今年、5年ぶりに新製品が登場することになりました。今回はその「ネジザウルスRX」の開発秘話を紹介したいと思います。

(1) M : Marketing

MPDP理論の中で最も難しいのが最初の出発点であるマーケティングです。ここで間違ってしまうとその後のあらゆる努力が報われません。開発費用が回収できず、在庫の山を抱えます。「ネジザウルスGT」開発の出発点が、愛用者カードに書かれた「頭が低いトラスネジも外したい」という潜在ニーズの発掘だったことは本稿2月号で詳述しましたが、5代目も同様の開発手法を採りました。

今回は愛用者カードの情報に加え、小売店や工場等を営業マンが訪問し、お客さまの声を直接お伺いしました。そこで浮上してきたのが「大きいサイズ」の要望でした。単に大きいネジ用であれば2005年の2代目ネジザウルスで対応できますが、「大きくて、頭が低いトラスネジを外したい」という潜在ニーズの存在に気づいたのです。

同時期に海外からも「グリップを大きく、握りやすくしてほしい」という声があり、国内外のニーズが一致したことから2013年に大型ネジザウルスの開発がスタートしました。

(2) P : Patent

基本設計のプロセスにおいては、お客さまにどのような便益 (benefit) を提供できるか——を追求しました。「ネジザウルスRX」は、大きいトラスネジを掴んで回せることが最大の便益ですが、さらに従来のペンチでは両立できなかった「針金の切断」と「薄板を掴む」という2つの便益も同時に提供することができます。

次ページの写真でご覧いただけるように先端がギア(歯車)のように山と谷がかみ合っているの、薄い板も掴むことができます。ネジザウルスは既に国内外の知的財産権を18件登録していますが、今回の「ギア歯」のデザインで意匠出願を行っています。

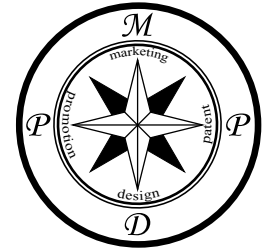
(3) D : Design

詳細設計のプロセスでは、本体デザインとグリップデザインを同時に進めました。今回も3Dプリンターが大活躍してくれました。また新たにデザインチームに加わったメンバーによって、従来のネジザウルスとはひと味違う斬新な外観に仕上がりに、おかげさまで本年のグッドデザイン賞を受賞することができました。

2009年の「ネジザウルスGT」に続く連続受賞を達成したことを励みに、iFやIDEAなど、欧米のデザイン賞にも積極的にチャレンジしていく予定です。

(4) P : Promotion

ネジザウルスの新製品ということで、お客さまからは大いに期待されています。恐竜の進化を遂げたシリーズ最強のネジザウルスとして、さまざまなプロモーションを展開してまいります。



ウ：今日はまず「ゆるキャラグランプリ」でボクを応援してくれはった読者の皆さんにお礼申し上げます。

高：知財業界の皆さま、「1日1票、ウルスくん」にご協力いただき、ありがとうございました。

銀・ウ：今年は優勝できなかったけど、来年も出ますんで、よろしゅうお願いいたします～ (*^_^*)

ウ：今回はよいよ「ネジザウルスRX」の秘密が明かされまん！ 楽しみやわ～。

銀：ネジザウルスとしては実に5年ぶりの新製品ちゅうことですけど、開発に時間がかかったんでっか？

高：「大きいサイズ」というユーザーの要望は比較的早い段階から把握していたが、4代目「ネジザウルスGT」の生産が追い付かないほど売れ行き好調が続いたので、大型ネジザウルスの開発はしばらく据え置くことになったんだ。

ウ：その間に、「鉄腕ハサミGT」や「ムッシュ・マグニ」「精密圧着ペンチ」というMPDP理論による新製品が生まれたんでんな。

高：米国向けにネジザウルスのグリップを赤色にした「VamPLIERS(ヴァンプライアーズ)」の販売も軌道に乗っていたが、米国の代理店からも大きいサイズの要望が出てきたんだ。ここは勝負をかけるしかない。

昨年、本格的に開発をスタート。紆余曲折はあったけど1年で完成したのは、3Dプリンターの活用でデザインプロセスを短縮できたのが大きいね。

ウ：しかも、グッドデザイン賞を受賞したんでっしゃる！ 銀次郎はん、オメデトウございます！ さっすが、「自称、世界的デザイナー」ですやん。

銀：褒めるんやったら、「自称」は要らんわ！

高：銀次郎くんもレベルアップしているが、良きパートナーができたんだ。これからは2人でエンジニアのデザイン力をぐんぐん高めていってくれよ。

銀：社長はん、デザインは僕らにらせてください！

ウ：今月の知財検定3級も頑張りや～ (^_^;)

銀：ウッサイな！ 今度は絶対に合格するから見とれや。

高：MPDPのバランスが大事だね。今回はプロモーションが大変やりやすいことを実感している。ネジザウルスの知名度がアップしてきたおかげだろう。

ウ：ブランドが出来上がりつつあるのかな～ (*^_^*)

銀：それがMPDPの究極の目標やからうれしいな！

ウ：ところで社長はん、「RX」の意味はなんでんの？

銀：エッヘン！ オッホン！

ウ：なにに、どうしたん？ 急に咳払いなんかして……？

高：社内でアルファベット2文字を公募したんだが、銀次郎くんの案が採用されたんだよ。

銀：エッヘン！ ムッホン！

ウ：もうええて！ で、どんな意味でんの？

銀：幾つかあるんやけどな。ガンダム初号機のRX78、恐竜的進化を遂げたガンダムのモビルスーツ。これらがジュラ紀の恐竜よろしく、でっかく進化したネジザウルスのイメージに合致したんや。

高：強力な顎をもった恐竜、モビルスーツのようなグリップ、そしてRXのネーミング。

ウ：すごい……親父が熱中するわけだ ！（^^）！



「ネジザウルスRX」